



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

島村自然フェスタに参加 ～地域住民との懸け橋として～

2等陸曹 武井 健司



自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 土屋2陸尉）は、令和6年6月2日、伊勢崎市境島村で実施された「島村自然フェスタ」に参加し、募集広報活動を実施した。

以前は、利根川により南北に分断されている境島村を結び「島村渡船」を中心に、流域住民の交流連携の発展等、水に親しむイベント「島村渡船フェスタ」という名称で実施されていた。令和元年の台風の影響による桟橋の崩壊や利用減に伴い、長年、地域住民に親しまれてきた「島村渡船」は2022年4月に運航を終了し、今回のイベントも「島村自然フェスタ」に改称された。

兼ねてより「島村渡船」の管理を担ってきた群馬県伊勢崎市から、かつてこの地に渡船があったことを後世に伝えるため「自衛隊渡河ポート」による利根川遊覧」を実施出来ないかと依頼があった。市の限られた予算での桟橋の設置や訓練最盛期における隊員の差出等、課題は多岐に及んだが、関係者各位の熱意と情熱により、今年度5年振りに実施出来ることとなった。

当日、自衛隊ブースでは第12施設隊（新町）から支援を受け、渡河ポートによる利根川遊覧、自衛隊車両（1／2トトラック）の展示、制服試着等を実施した。

連日の降雨による河川の増水や、雨予報による不安もあったが、午前中は雨も降らず、多くの来場者に楽しんでいただくことができた。

乗船された方からは「いい思い出になりました。」「船上での風が気持ちよかったです。」「また「島村渡船」があった時のことを思い出しました。」「等の昔を懐かしむ声も聞くことができた。

今回、担当広報官として地域文化の伝承等に携われたこと、関係者各位の熱意と情熱により実施できたことは特に感慨深いものがあり今後更なる業務の励みとなった。

前橋募集案内所では、今後も自治体との連携を深め、自衛隊と地域住民の架け橋となり、地域における募集基盤の充実、拡大に努めていく。

